

必修問題

目標 I. 健康および看護における社会的・倫理的側面について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 健康の定義と理解	A 健康の定義	世界保健機関〈WHO〉の定義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 A 「健康のとらえ方」 (p.108~115) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 A-3-1 「健康の多様性」 (p.16~17) 医療概論 : 第1章 B-1 「健康とは」 (p.12) 公衆衛生 : 第1章 A-2 「ヘルス(衛生・健康)とはなにか」 (p.17~18)
		ウェルネスの概念	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 A-1-3 「健康の拡大」 (p.110) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第1章 A-3 「暮らしのなかで健康をとらえる」 (p.16~18) 公衆衛生 : 第1章 D-2-4 「オタワ憲章——健康は手段か目的か」 (p.39~42)
	B 健康に関する指標	総人口	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48) 公衆衛生 : 第4章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.104~107) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-1 「総人口の変化」 (p.28) 統計学 : 第6章 B-1-1 「全国総人口」 (p.171)
		年齢別人口	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48) 公衆衛生 : 第4章 B-3 「健康指標の基礎資料——人口を把握する」 (p.104~107) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.29~32) 統計学 : 第6章 B-1-2 「性別・年齢別人口(人口ピラミッド)」 (p.171~172)
		労働人口	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.29~32)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.38~41) 統計学 : 第6章 B-2 「労働に関する指標」 (p.173~175)
		将来推計人口	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44~48) 公衆衛生 : 第8章 D-1-3 「日本の高齢化の現状と対策」 (p.252~253) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.29~32)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.38~41)
		世帯数	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-3 「家族」 (p.133~136) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-1 「世帯の状況」 (p.77~78) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-1 「世帯の変化」 (p.34~35) 統計学 : 第6章 B-3 「世帯に関する統計」 (p.175~176)
		婚姻、家族形態	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-2 「結婚と出産」 (p.130~132)、C-4 「家族」 (p.133~136) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「婚姻の状況」 (p.78~80)、B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82~85) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-2 「母性看護にかかわる社会の指標」 (p.74~79)、第3章 B-2-2 「多様化する女性のライフスタイル」 (p.130~133) 社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3-2 「家族の機能と役割の変化」 (p.35~36) 統計学 : 第6章 B-1-4 「配偶関係別人口」 (p.173)、B-3-2 「世帯構造別人口」 (p.175~176) 家族看護学 : 第2章 D-1 「現代家族の様相」 (p.63~78)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
		出生と死亡の動向	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-5 「死亡の状況」 (p.120~122)、C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-2 「出生と家族」 (p.9~11)、B-3 「子どもの死亡」 (p.12~15)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 A-2-1 「母子保健統計」 (p.64~74)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2-2 「死亡率」 (p.101~103)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-1-2 「人口動態および人口構成の変化」 (p.29~32)、A-5 「雇用状況の変化」 (p.38~41)</p> <p>統計学 : 第6章 C-1 「出生に関するおもな指標」 (p.176~179)、C-2 「死亡に関するおもな指標」 (p.179~187)</p>	
		死因の概要	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-5 「死亡の状況」 (p.120~122)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.56~58)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第1章 B-3 「子どもの死亡」 (p.12~15)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2-3 「死因」 (p.103~104)</p> <p>統計学 : 第6章 C-2 「死亡に関するおもな指標」 (p.179~187)</p>	
		平均余命、平均寿命、健康寿命	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-1 「平均寿命と出生」 (p.129~130)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 A-2-3 「●平均寿命と健康寿命」 (p.69)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.56~58)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-2-1 「平均寿命、平均余命、健康寿命」 (p.101)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第7章 A-1-1 「長寿化の進展」 (p.158)</p> <p>統計学 : 第6章 E 「生命表」 (p.191~194)</p>	
		C 受療状況	有訴者の状況	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-1 「有訴者率と通院者率」 (p.115~116)</p> <p>統計学 : 第6章 D-1 「国民生活基礎調査」 (p.188~189)</p>
		有病率、罹患率、受療率	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-2 「患者の状況」 (p.117~119)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4 「受療状況」 (p.60)</p> <p>公衆衛生 : 第4章 B-1 「疾患の発生状況を把握する」 (p.97~100)</p> <p>統計学 : 第6章 D-2 「患者調査」 (p.189~190)</p> <p>総合医療論 : 第3章 A 「もしも私たちが病気やけがをしたら」 (p.56~69)</p>	
	外来受診の状況	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-2 「患者の状況」 (p.117~119)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-4 「受療状況」 (p.60)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第7章 A-1 「現在の外来診療がおかれている状況」 (p.228)</p>		
	入院期間	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 B-1-2 「患者の状況」 (p.117~119)</p> <p>総合医療論 : 第3章 A-2-4 「入院から退院まで」 (p.62~64)</p> <p>精神保健福祉 : 第5章 A-1 「入院患者の概況」 (p.116~118)</p>		
	2 健康に影響する要因	A 生活行動・習慣	食事と栄養	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章 A 「食事援助の基礎知識」 (p.29~38)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)、第5章 C-5 「肥満」 (p.192~193)</p> <p>栄養学 : 第8章 「ライフステージと栄養」 (p.152~186)、第10章 「健康づくりと食生活」 (p.238~251)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 4-1 「●栄養・食生活」 (p.238~239)</p> <p>栄養食事療法 : 第1章 「栄養食事療法とは」 (p.2~11)</p>
			排泄	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 「排泄援助技術」 (p.63~102)</p>
			活動と運動、レクリエーション	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A 「基本的活動の援助」 (p.104~140)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)、第5章 C-4 「身体活動量低下と運動不足」 (p.190~192)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 4-1 「●身体活動・運動」 (p.239~240)</p>
休息と睡眠			<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B 「睡眠・休息の援助」 (p.140~150)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-2 「成人のライフスタイルの特徴」 (p.49~55)</p> <p>解剖生理学 : 第8章 K-1-2 「睡眠」 (p.421~424)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 4-1 「●休養」 (p.240)</p>	
清潔と衣生活			<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 「清潔・衣生活援助技術」 (p.169~232)</p>	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		ライフスタイル	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章 C-1「生活者としての人間」(p.100～103)、第3章 A-4「健康と生活」(p.112～115)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-1「生活を営むこと」(p.27～30)、B-2「仕事をもち、働くこと」(p.30～37)、第2章 A-1-2「成人のライフスタイルの特徴」(p.49～55)、第5章 B-1「ライフスタイルと健康問題」(p.182)</p> <p>公衆衛生：第1章 D-2-2「ラウンド報告」(p.37～38)</p> <p>総合医療論：第1章 C-3「ライフサイクルのなかの病——老いと病」(p.27～28)</p>
		ストレス	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章 A-3『『こころ』と『からだ』にかかるストレスの影響』(p.83～88)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 B「健康バランスに影響を及ぼす要因」(p.181～186)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 B-1「生体システムとしてのストレス反応」(p.31～33)</p> <p>公衆衛生：第8章 C-4-1「●こころの健康」(p.237～238)</p> <p>心理学：第10章 B-1「ストレスと適応」(p.196～201)</p> <p>総合医療論：第3章 F-1-1「ストレス」(p.94)</p>
		喫煙、嗜好品	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 A-4「健康と生活」(p.112～115)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「成人のライフスタイルの特徴」(p.49～55)、第5章 C-3「喫煙と健康問題」(p.189～190)</p> <p>公衆衛生：第8章 4-1「●飲酒」(p.240)、「●喫煙」(p.240～241)</p>
	B 生活環境	水質、大気、土壌	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-1「成人を取り巻く環境」(p.44～48)、第5章 C-6-3「大気・紫外線・放射性物質の問題」(p.194)</p> <p>公衆衛生：第5章 B-4「水質汚濁」(p.129～130)、B-5「大気汚染」(p.131～134)、B-6「土壌汚染」(p.134～135)</p>
		食品衛生	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-1「成人を取り巻く環境」(p.44～48)、第5章 C-6-1「食品の安全性確保」(p.193)</p> <p>栄養学：第10章 D「食の安全性と表示」(p.248～251)</p> <p>公衆衛生：第5章 C-2「食品の安全確保」(p.140～143)</p>
		住環境	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C-6-2「居住環境」(p.194)</p> <p>公衆衛生：第5章 C-1「室内環境の安全確保」(p.138～140)</p>
	C 社会環境	職業と健康障害	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2「仕事をもち、働くこと」(p.30～37)、第2章 A-2-3「職業性疾病・業務上疾病」(p.59～60)、第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.175～177)</p> <p>成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章 J「職業性アレルギー」(p.54)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 E-1「働く人の心の健康(メンタルヘルス)の現状」(p.187～190)</p> <p>病理学：第1章 B-3「公害病・医原病・職業がん」(p.10～11)</p> <p>公衆衛生：第1章 B-3「富の増大と職業病——産業保健のはじまり」(p.22～24)、第10章 B-2-2「労働災害の発生状況と防止対策」(p.343～346)</p> <p>社会保障・社会福祉：第5章 D-2「労働者災害補償保険制度」(p.132～135)、第8章 F-1-3「疾病の社会化」(p.237～238)</p>
		労働環境	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2「仕事をもち、働くこと」(p.30～37)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.187～188)</p> <p>公衆衛生：第10章 B-4「職場の健康管理体制」(p.352～354)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-5-3「近年の雇用問題」(p.40～41)</p>
		ワーク・ライフ・バランス	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-2「仕事をもち、働くこと」(p.30～37)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第3章 B-2-3「伝統的な性役割観の変化とワークライフバランス」(p.133～136)</p> <p>公衆衛生：第10章 D-4「男女共同参画とワークライフバランス」(p.358～359)</p> <p>社会保障・社会福祉：第2章 A-5-4「仕事と余暇——ワーク・ライフ・バランス、働き方改革」(p.41)</p> <p>教育学：第15章 D-3「仕事以外の生活にも光をあてる」(p.206)</p>
	3 社会 保障 看護で 活用す る	A 医療保険制度の基本	医療保険の種類

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		国民医療費	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-1-1 「成人を取り巻く環境」 (p.44～48) 医療概論 : 第5章 B-1 「国民医療費」 (p.195) 公衆衛生 : 第4章 B-4 「集団の健康をとらえるための統計資料」 (p.107～109) 社会保障・社会福祉 : 第3章 G 「国民医療費」 (p.79～82)
		高齢者医療制度	医療概論 : 第3章 B-1-1 「医療保険」 (p.64) 社会保障・社会福祉 : 第3章 D 「高齢者医療制度」 (p.70～75) 看護関係法令 : 第6章 A-3 「高齢者の医療の確保に関する法律」 (p.197～199)
		給付の内容	医療概論 : 第3章 B-1-1 「医療保険」 (p.64) 社会保障・社会福祉 : 第3章 C-2 「給付と患者負担」 (p.65～68) 看護関係法令 : 第6章 A 「医療・介護の費用保障」 (p.191～199)
	B 介護保険制度の基本	保険者	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-2 「保険者・被保険者・受給権者」 (p.170～171) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.80～87) 老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41～48) 医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-2 「保険者」 (p.89～90) 看護関係法令 : 第6章 A-4-a 「保険者など」 (p.200)
		被保険者	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-2 「保険者・被保険者・受給権者」 (p.170～171) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.80～86) 老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41～48) 医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-3 「被保険者」 (p.90～91) 看護関係法令 : 第6章 A-4-b 「被保険者・保険料」 (p.200)
		給付の内容	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1 「介護保険制度」 (p.168～175) 老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41～48) 医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5 「保険給付」 (p.92～101) 看護関係法令 : 第6章 A-4-c 「保険給付」 (p.200～203) 精神保健福祉 : 第6章 A-6 「高齢精神障害者の支援」 (p.176～182)
		要介護・要支援の認定	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-3 「●要介護認定」 (p.171～172) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-4 「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」 (p.80～87) 老年看護学 : 第2章 B-1-2 「介護保険制度の整備」 (p.41～48) 医療概論 : 第3章 K-1-2 「要介護認定」 (p.132) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-4 「要介護・要支援の認定」 (p.91～92) 看護関係法令 : 第6章 A-4-d 「要介護認定と要支援認定」 (p.203～205)
地域支援事業	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 A-1-4 「●地域支援事業」 (p.174) 老年看護学 : 第9章 A-2 「介護予防とヘルスプロモーション」 (p.361～364) 医療概論 : 第3章 B-1-2 「介護保険」 (p.65) 公衆衛生 : 第8章 D-4-2 「●地域支援事業を活用した新たな事業の創出」 (p.257～258) 社会保障・社会福祉 : 第4章 B-5-10 「地域支援事業」 (p.100～101) 看護関係法令 : 第6章 A-4-f 「地域支援事業」 (p.205～206)		
4 看護における倫理	A 基本的人権の擁護	個人の尊厳	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2-2 「●倫理的配慮とプライバシー保護」 (p.50)、第5章 B-1 「患者の権利とインフォームドコンセント」 (p.190～191)、C-1 「看護の本質としての看護倫理」 (p.204～205) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第6章 H-1 「対象者の権利擁護」 (p.208) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 G 「看護実践における倫理的判断」 (p.139～146) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第1章 G 「母性看護における倫理」 (p.49～54) 公衆衛生 : 第1章 C-3 「日本国憲法のなかの公衆衛生」 (p.32～33)、C-4 「日本国憲法と世界人権宣言における健康と人権」 (p.33～34)、第2章 B-1 「看護職は『みんな』の権利をまもる守護神の1人」 (p.49～50)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			救急看護学：第1章D-2「倫理面への配慮」(p.45~48) 看護倫理：第2章「生命倫理」(p.24~40)
		患者の権利	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.190~191) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第5章B-3「倫理的配慮と価値判断」(p.296~298) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章H-1「対象者の権利擁護」(p.208) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「看護実践における倫理的判断」(p.139~146) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第2章B-1「患者の権利」(p.19) 医療概論：第4章A-3「患者の権利」(p.147) 公衆衛生：第2章B「看護職の公的責任と活動対象」(p.49~52) 救急看護学：第1章D-2「倫理面への配慮」(p.45~48) 看護倫理：第2章A-2「生命倫理の歴史」(p.25~27) 看護情報学：第7章A「患者の権利と自己決定への支援」(p.142~147)
		自己決定権と患者の意思	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.190~191)、B-2「患者の意思決定支援と守秘義務」(p.191~193)、C-2「医療をめぐる倫理原則とケアの倫理」(p.205~209) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章H-1「対象者の権利擁護」(p.208) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「看護実践における倫理的判断」(p.139~146) 医療概論：第4章A-3-2「自己決定権」(p.148) 救急看護学：第1章D-2「倫理面への配慮」(p.45~48) 緩和ケア：第4章B「意思決定支援」(p.63~72) 総合医療論：第5章D「生命倫理学と臨床倫理学の展開」(p.123~128) 看護倫理：第2章「生命倫理」(p.24~40) 看護情報学：第7章A「患者の権利と自己決定への支援」(p.142~147)
		インフォームド・コンセント	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.190~191) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-3「医療にかかわる対策——健康への多様なニーズへの対応」(p.74~80) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章C「造血器腫瘍」(p.78) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章B-2「インフォームドコンセント」(p.20~23) 医療概論：第4章A-3-2「自己決定権」(p.148) 臨床外科看護総論：第6章C「インフォームドコンセント」(p.205~207) 救急看護学：第1章D-2-1「インフォームドコンセント」(p.45~46) 緩和ケア：第4章B-1「インフォームドコンセント」(p.63~65) 総合医療論：第5章F-2「インフォームドコンセントの法理」(p.136~137) 看護倫理：第2章C-1「インフォームドコンセント」(p.34~37) 看護情報学：第7章A-2「インフォームドコンセント」(p.143~144)
		ノーマライゼーション	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章B-1-4「福祉にかかわる対策——地域でのノーマライゼーションの広がり」(p.80~84)、第8章B-2-3「生活期のリハビリテーションと看護」(p.276~277) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-2-5「統合失調症の治療」(p.174~176) 医療概論：第3章B-3-4「ノーマライゼーション」(p.71) 公衆衛生：第8章G-3「公衆衛生ナビ「ノーマライゼーション」」(p.302) 社会保障・社会福祉：第7章B-2-1「ノーマライゼーション」(p.170~171) 人間関係論：第12章D-1「ノーマライゼーション」(p.266~267) リハビリテーション看護：第1章A「リハビリテーションの定義と理念」(p.5) 総合医療論：第3章E「障害者のノーマライゼーションとインクルージョン(社会的包摂)」(p.89~93) 精神保健福祉：第1章C-2「共生社会とノーマライゼーション」(p.9~10)
		情報管理(個人情報の保護)	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-2-3「守秘義務の遵守と個人情報保護」(p.193) 基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第5章D-2「記載・管理における留意点」(p.337~338) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章H-3「守秘義務」(p.208)、H-4「個人情報保護」(p.209) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章G「情報のマネジメント」(p.122~126) 医療概論：第4章E-1「医療情報と個人情報」(p.174)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			救急看護学：第1章D-2-4「プライバシー保護」(p.48) 総合医療論：第5章F-1-2「正確な診療情報記録の重要性」(p.135) 看護倫理：第2章C-2「守秘義務と個人情報保護」(p.38～40) 看護情報学：第8章「個人情報の保護」(p.160～174)
	B 倫理原則	自律尊重	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「看護実践における倫理的判断」(p.139～146) 母性看護学 [1] (母性看護学概論)：第1章G「母性看護における倫理」(p.49～54) 医療概論：第4章A-2「生命倫理とは」(p.144) 看護倫理：第2章B「生命倫理の理論」(p.28～33)、第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
		善行	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 医療概論：第4章A-2「生命倫理とは」(p.144) 看護倫理：第2章B「生命倫理の理論」(p.28～33)、第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
		公正、正義	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 医療概論：第4章A-2「生命倫理とは」(p.144) 看護倫理：第2章B「生命倫理の理論」(p.28～33)、第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
		誠実、忠誠	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 看護倫理：第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
		無危害	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-2-1「倫理原則」(p.205～207) 医療概論：第4章A-2「生命倫理とは」(p.144) 看護倫理：第2章B「生命倫理の理論」(p.28～33)、第6章C「看護の倫理原則」(p.103～106)
	C 看護師等の役割	説明責任〈アカウントビリティ〉	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章B-2-2「●患者・家族への説明と助言」(p.52～53)、第5章B-1「患者の権利とインフォームドコンセント」(p.190～191) 救急看護学：第1章D-2-1「インフォームドコンセント」(p.45～46) 看護倫理：第2章C-1「インフォームドコンセント」(p.34～37)、第6章D「看護実践上の倫理的概念」(p.106～114) 看護情報学：第7章A-2「インフォームドコンセント」(p.143～144)
		倫理的配慮	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章B-4「医療専門職の倫理規定」(p.198～204)、C-1「看護の本質としての看護倫理」(p.204～205)、C-2「医療をめぐる倫理原則とケアの倫理」(p.205～209) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「看護実践における倫理的判断」(p.139～146) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章B-5「看護職の職業倫理」(p.172～173) 公衆衛生：第2章B-2「万国共通の看護職の公的責任」(p.50～51) 救急看護学：第1章D-2「倫理面への配慮」(p.45～48) 看護倫理：第6章「看護倫理とはなにか」(p.96～118)、第7章「専門職の倫理」(p.120～136)
		権利擁護〈アドボカシー〉	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第5章C-1「看護の本質としての看護倫理」(p.204～205) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章H-1「対象者の権利擁護」(p.208) 社会保障・社会福祉：第8章E-3「アドボカシー」(p.234～235) 救急看護学：第1章D-2-2「アドボカシー」(p.46～47) 看護倫理：第6章D-1「アドボカシー」(p.106～107)
5 看護に関わる基本的法律	A 保健師助産師看護師法	保健師・助産師・看護師の定義	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章A-2-1「保健師助産師看護師法における定義」(p.21～22)、第4章B-1「看護職の資格」(p.150～154) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章B-1「看護職の定義」(p.167～168) 医療概論：第3章D-2-2「看護師・准看護師・保健師・助産師」(p.104) 看護関係法令：第2章A-2「定義」(p.20～22)
		保健師・助産師・看護師の業務	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第4章B-1「看護職の資格」(p.150～154) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章B「看護職」(p.167～181) 医療概論：第3章D-2-2「看護師・准看護師・保健師・助産師」(p.104) 看護関係法令：第2章A-7「業務」(p.29～31)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		保健師・助産師・看護師の義務(守秘義務、業務従事者届出の義務、臨床研修等を受ける努力義務)	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第4章 B-1「看護職の資格」(p.150～154)</p> <p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I)：第5章 D-2「記載・管理における留意点」(p.337～338)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章 B「看護職」(p.167～181)</p> <p>看護関係法令：第2章 A-7「業務」(p.29～31)、A-9「義務」(p.33～36)</p>
		養成制度	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第4章 B-2「看護職の養成制度」(p.154～159)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章 B-6「看護職の教育制度」(p.173～176)</p>
	B 看護師等の人材確保の促進に関する法律	目的、基本方針	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第4章 A-4-4「看護職の確保と定着に向けた支援対策」(p.148～149)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章 B-3-2「看護師等の人材確保の促進に関する法律と関係法令」(p.170～171)</p> <p>医療概論：第5章 A-6-3「看護師不足」(p.192)</p> <p>看護関係法令：第2章 B「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(p.45～48)</p>
		ナースセンター	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第4章 A-4-4「看護職の確保と定着に向けた支援対策」(p.148～149)</p> <p>看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第3章 D-3「労働環境」(p.110～118)、第6章 B-3-2「看護師等の人材確保の促進に関する法律と関係法令」(p.170～171)</p> <p>医療概論：第5章 A-6-3「看護師不足」(p.192)</p> <p>看護関係法令：第2章 B-d「ナースセンターと離職届」(p.48)</p>

目標Ⅱ. 看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 人間の 特性	A 人間と欲求	基本的欲求	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 A-2-3「●ヴァージニア=ヘンダーソン」(p.27～31)、第2章 A-5-1「人間のニード(欲求)に関する理論——マズローの欲求段階説」(p.91～92)、第2章 C-1「生活者としての人間」(p.100～103)</p> <p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第1章 A-b「健康上のニーズ」(p.3～4)</p> <p>心理学：第6章 C-4「マズローの欲求階層説」(p.109～110)</p>
		社会的欲求	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章 A-2-3「●ヴァージニア=ヘンダーソン」(p.27～31)、第2章 A-5-1「人間のニード(欲求)に関する理論——マズローの欲求段階説」(p.91～92)、第2章 C-1「生活者としての人間」(p.100～103)</p> <p>基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第1章 A-b「健康上のニーズ」(p.3～4)</p> <p>心理学：第6章 C-4「マズローの欲求階層説」(p.109～110)</p>
	B 対象の特性	QOL	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 A-4-3「健康とQOL」(p.115)</p> <p>公衆衛生：第1章 D-2-4「●健康はQOLとWell-beingのための資源」(p.40～41)</p> <p>社会学：第5章 B-4「健康とクオリティオブライフ(QOL)」(p.79～80)</p> <p>総合医療論：第1章 B-2-4「QOLの考え方と医療」(p.24)</p>
		健康や疾病に対する意識	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 A「健康のとらえ方」(p.108～115)</p> <p>社会学：第5章 A「健康・病気の見方・とらえ方のうつりかわり」(p.74～76)、B「健康・病気の新しい見方ととらえ方」(p.76～84)</p> <p>総合医療論：第1章 B「健康のとらえ方」(p.19～24)、C「病の体験」(p.25～28)</p>
		疾病・障害・死の受容	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章 A-5-2「危機理論」(p.92～93)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 A-2「障害がある人の障害の認識過程」(p.268～270)、第9章「人生の最期のときを支える看護」(p.280～298)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第1章 B-2「心理・社会的な問題とその援助」(p.13～16)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C-1-Column「喪失と悲嘆」(p.40)</p> <p>病理学：第7章 C-3「尊厳死と緩和医療」(p.114)</p> <p>心理学：第11章 B-1「患者の心理特性」(p.227～230)</p> <p>救急看護学：第2章 B-2-4「悲嘆反応」(p.59～60)</p> <p>リハビリテーション看護：第2章 B-2「障害者の体験」(p.47～57)、C-3-3「障害受容に対する援助」(p.73～75)</p> <p>緩和ケア：第3章 C-2「コミュニケーションに関する患者の意向」(p.42～47)、第5章 B-1「生命をおびやかす疾患と治療による心への影響と適応」(p.97～99)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	A 胎児期	形態的発達と異常	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第1章 B 「おもな疾患」 (p.6~10) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章 A-2 「胎児の発育とその生理」 (p.68~71)、第5章 B-1 「新生児の診断」 (p.281~293) 解剖生理学 : 第10章 C 「受精と胎児の発生」 (p.475~489) 病理学 : 第8章 「先天異常と遺伝性疾患」 (p.115~134) 病態生理学 : 第1章 F 「先天異常と遺伝子異常」 (p.21~24)
		B 新生児・乳児期	発達の原則
	B 新生児・乳児期	身体の発育	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-1 「身体の発育」 (p.94~95) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-1 「形態的特徴」 (p.54)、B-1 「形態的特徴」 (p.71~72)
		運動能力の発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-4 「運動機能」 (p.73~76) 心理学 : 第9章 B-1-2 「運動機能」 (p.174~175)
	B 新生児・乳児期	栄養	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 B-8-a-1 「食事の世話」 (p.80~87) 栄養学 : 第8章 A 「乳児期における栄養」 (p.152~156) 栄養食事療法 : 第16章 「小児の栄養食事療法」 (p.228~236)
		親子関係	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第3章 A-4-5 「愛着形成」 (p.70~71)、B-7-1 「愛着形成」 (p.77~78) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 C 「母性の発達・成熟・継承」 (p.142~154) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第6章 C-2 「児との関係確立への看護」 (p.356) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-3 「よい乳房・わるい乳房——対象関係論」 (p.91~96)、B-5 「愛着と心の安全の基地——ボウルビーの愛着理論」 (p.102~107)、第4章 B-2 「家族の関係性とコミュニケーションに関する研究」 (p.120~121)、B-3 「家族システムという考え方」 (p.121~130) 心理学 : 第9章 B-3-1 「愛着の形成」 (p.179~180)、B-3-2 「自己意識と第一次反抗期」 (p.181) 家族看護学 : 第2章 C-1-2 「養育機能」 (p.48~50)
	C 幼児期	身体の発育	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-1 「形態的特徴」 (p.92)
		運動能力の発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-4 「運動機能」 (p.93) 心理学 : 第9章 B-1-2 「運動機能」 (p.174~175)
		言語の発達	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-6 「コミュニケーション機能」 (p.95~96) 心理学 : 第4章 B-1-3 「言語の獲得」 (p.61~62)
		社会性の発達	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.96~100) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-7 「情緒・社会的機能」 (p.96~101) 心理学 : 第9章 B-3 「自己と社会性」 (p.179~181) 家族看護学 : 第2章 C-1-3 「社会化機能」 (p.50~51)
		基本的生活習慣の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 A-8-1 「日常生活の自立と世話」 (p.101~105) 栄養学 : 第8章 B-1 「幼児期の特徴と栄養摂取の要点」 (p.157) 栄養食事療法 : 第16章 A 「小児の栄養管理の基本」 (p.228~231)
	D 学童期	運動能力の発達、体力の特徴	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-3 「感覚・運動機能」 (p.110~111)
		社会性の発達	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.96~100) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-5 「社会的機能」 (p.113~115) 心理学 : 第9章 C-2 「自己と社会性」 (p.184~186) 家族看護学 : 第2章 C-1-3 「社会化機能」 (p.50~51)
		学習に基づく行動	小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第4章 B-8 「学童の養育および看護」 (p.117~122) 心理学 : 第5章 D-1 「社会的学習」 (p.88~92)
	E 思春期	第二次的徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-1 「青年期——大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 2 「身体生理の特徴」 (p.125~127)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
			母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-1 「身体的特徴」 (p.196~197) 解剖生理学 : 第10章 D-1-3 「思春期における性成熟」 (p.492~493)	
		アイデンティティの確立	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2 「心理・社会的側面における発達」 (p.96~100) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-1 「青年期——大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 3-3 「自我発達」 (p.128~129) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.197~202) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-4 「ライフサイクルとアイデンティティ——エリクソンの漸成的発達理論」 (p.97~102) 心理学 : 第9章 C-2-3 「自己概念とアイデンティティの確立」 (p.185~186)	
		親からの自立	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-1 「青年期——大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 3-4 「社会性の発達」 (p.129~130)、3-5 「性的傾向」 (p.130) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.197~202) 心理学 : 第9章 C-2-2 「親子関係の変化」 (p.184~185) 家族看護学 : 第1章 B-2-1 「子どもの成長と親の介護」 (p.20~21)	
		異性への関心	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-1 「青年期——大人になること」 (p.9~17) 小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第5章 3-4 「社会性の発達」 (p.129~130)、3-5 「性的傾向」 (p.130) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 B-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.197~202)	
		F 成人期	社会的責任と役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2-2 「成人期の発達」 (p.99) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-2 「壮年期・中年期——大人であること」 (p.17~25) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第5章 C-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.219~221)
		生殖機能の成熟と衰退	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-2 「壮年期・中年期——大人であること」 (p.17~25)、A-2-3 「向老期——老年期への移行(熟年から人生の有終へ)」 (p.25~26) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章 B 「女性生殖器の機能」 (p.26~36) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.228~231) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 B-4-7 「大人になるということ」 (p.101)	
		基礎代謝の変化	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 A-2-2 「壮年期・中年期——大人であること」 (p.17~25) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.228~231) 栄養学 : 第4章 D-1 「基礎代謝」 (p.82~84)	
		G 老年期	身体的機能の変化	老年看護学 : 第1章 B-2 「加齢に伴う身体的側面の変化」 (p.7~9) 老年看護 病態・疾患論 : 第1章 「高齢者の生理的特徴」 (p.18~45) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.228~231)
		認知能力の変化	老年看護学 : 第1章 B-3 「加齢に伴う心理的側面の変化」 (p.9~11) 老年看護 病態・疾患論 : 第1章 C 「脳の老化」 (p.26~30) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-1 「身体的特徴」 (p.228~231) 心理学 : 第9章 D-2-3 「高齢期の知的機能の変化」 (p.191~193)	
		心理社会的変化	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 B-2-3 「老年期の発達」 (p.99~100) 老年看護学 : 第1章 B-3 「加齢に伴う心理的側面の変化」 (p.9~11) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 D-1-2 「心理・社会的特徴」 (p.231~234) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 B-4-8 「新たな老年期の課題」 (p.101~102) 心理学 : 第9章 D-2-4 「高齢期の発達課題」 (p.193~194)	
8 者としての 家族	A 家族の機能	家族関係	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.103~105) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B 「家族の理解」 (p.75~89)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.37～39)、第3章 I 「家族支援」 (p.154～158)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第6章 「家族の特徴とアセスメント」 (p.146～160)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章 B-3 「家族の発達段階と家族看護」 (p.137～142)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34～36)</p> <p>人間関係論 : 第11章 A 「家族関係論」 (p.224～232)</p> <p>救急看護学 : 第2章 「救急患者家族の特徴」 (p.59～64)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第2章 B-3 「家族の体験」 (p.58～60)、C-3-6 「家族援助」 (p.81～83)</p> <p>家族看護学 : 第2章 B 「家族構造」 (p.35～44)、C 「家族機能」 (p.45～63)</p>
		家族構成員	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-3 「家族」 (p.133～136)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82～85)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第1章 B-3 「家族からとらえる大人」 (p.37～39)、第3章 I 「家族支援」 (p.154～158)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第6章 「家族の特徴とアセスメント」 (p.146～160)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.247～248)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34～36)</p> <p>人間関係論 : 第11章 A 「家族関係論」 (p.224～232)</p> <p>家族看護学 : 第2章 B 「家族構造」 (p.35～44)</p>
		疾病が患者・家族に与える心理・社会的影響	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.103～105)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 I 「家族支援」 (p.154～158)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第6章 「家族の特徴とアセスメント」 (p.146～160)</p> <p>心理学 : 第11章 B 「患者の心理」 (p.227～232)</p> <p>人間関係論 : 第11章 C 「さまざまな状況・患者と家族の看護」 (p.239～249)</p> <p>救急看護学 : 第2章 「救急患者家族の特徴」 (p.59～64)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第2章 B-3 「家族の体験」 (p.58～60)、C-3-6 「家族援助」 (p.81～83)</p> <p>家族看護学 : 第2章 C-2 「家族のセルフケア機能」 (p.51～55)、第4章 B-2 「家族アセスメント」 (p.129～139)</p>
		B 家族形態の変化	<p>家族の多様性</p> <p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 C-2-1 「看護の対象としての家族」 (p.103～105)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82～85)</p> <p>小児看護学 [1] (小児看護学概論) : 第6章 B-3-e 「さまざまな状況の家族」 (p.155～160)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34～36)</p> <p>人間関係論 : 第11章 A-2 「現代社会の家族の特徴」 (p.225～226)</p> <p>家族看護学 : 第2章 D-1-b 「家族の多様性」 (p.69～78)</p>
		構成員の変化	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第3章 C-3 「家族」 (p.133～136)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第3章 B-2 「わが国における家族とその変遷」 (p.82～85)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C 「成人保健」 (p.225～227)、C-7 「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」 (p.247～248)</p> <p>社会保障・社会福祉 : 第2章 A-3 「家族・個人の変化」 (p.34～36)</p> <p>人間関係論 : 第11章 A-2 「現代社会の家族の特徴」 (p.225～226)</p> <p>家族看護学 : 第2章 D-1-a 「家族構造・形態の変遷」 (p.63～69)</p>
9 主な看護活動の場と看護の機能	A 看護活動の場と機能・役割	病院、診療所	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-a 「医療施設における看護」 (p.225～231)</p> <p>地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第5章 B-6 「医療機関で提供される看護」 (p.152～154)</p> <p>医療概論 : 第3章 D-1 「病院と診療所」 (p.102)</p> <p>看護関係法令 : 第3章 A 「医療法」 (p.50～72)</p> <p>総合医療論 : 第3章 A-2 「診療所と病院」 (p.59～62)</p>
		助産所	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-a 「医療施設における看護」 (p.225～231)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第2章 B-1 「母性看護にかかわる機関」 (p.93～95)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			看護関係法令：第3章A「医療法」(p.50～72)
		訪問看護ステーション	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章C-2-2「看護の対象としての集団・地域」(p.105～106)、第6章B-2-b-2「●在宅看護」(p.239～241) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章C「訪問看護の制度」(p.183～200)
		介護保険施設	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章B-2-a「医療施設における看護」(p.225～231) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章B-5「施設サービスの場で提供される看護」(p.151～152) 老年看護学：第2章B-1-2「介護保険制度の整備」(p.41～48) 社会保障・社会福祉：第4章B-5-8「●介護保険施設」(p.98～99) 看護関係法令：第6章A-4-c「保険給付」(p.200～203)
		地域包括支援センター	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章B-2-b-2「●行政看護」(p.234～237) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第6章A-1-1-plus「地域包括支援センターの役割」(p.169) 老年看護学：第2章B-1-2「介護保険制度の整備」(p.41～48) 公衆衛生：第8章D-4「公衆衛生ナビ「地域包括支援センター」」(p.259) 社会保障・社会福祉：第4章B-5-10「●地域包括支援センター」(p.100～101) 看護関係法令：第6章A-4-f「地域支援事業」(p.205～206) 看護情報学：第5章C-5「介護保険と地域包括支援センター」(p.122～123)
		市町村、保健所	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章B-2-b-2「●行政看護」(p.234～237) 公衆衛生：第3章B-3-1「保健所」(p.79～80)、第3章B-3-2「保健センター」(p.80～82) 看護関係法令：第4章A-1-c「保健所」(p.117～118)、第4章A-1-d「市町村保健センター」(p.118)
		学校	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章C-2-2「看護の対象としての集団・地域」(p.105～106)、第6章B-2-b-2「●学校看護」(p.237～238) 公衆衛生：第9章A-1-2「学校保健の対象」(p.316) 教育学：第5章「教育の組織化——学校」(p.43～54)、第8章D「今日の学校における保健室の存在と役割」(p.97～100)
		企業	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第2章C-2-2「看護の対象としての集団・地域」(p.105～106)、第6章B-2-b-2「●産業看護」(p.238～239) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第4章B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.175～177) 公衆衛生：第10章A「職場における健康」(p.338～340)
		チーム医療	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章C-2「多職種チームの連携と継続のかかわり」(p.69～72)、第6章B-1「看護サービスの担い手とチーム医療」(p.223～225) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章C「地域・在宅看護における多職種連携」(p.154～162) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章A-2-1「チームで支えるという意識をもつ」(p.52～54)、第5章A「地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームでの協働」(p.340～342) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章D「チームアプローチ」(p.125～129) 人間関係論：第9章A「医療におけるチームと看護師の役割」(p.162～168) 家族看護学：第4章B-7「家族看護と多職種連携」(p.164～172) 総合医療論：第7章C-4「医療職間の多職種連携から患者・家族・地域コミュニティとの協働へ」(p.176～177) 看護情報学：第4章B-5「チーム医療・集学的治療」(p.83～85)
		退院調整	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第1章C-3「在宅療養を支える連携と継続のかかわり」(p.72～76)、第6章B-2-c「継続看護」(p.241～246) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤)：第5章B-6-3「療養の場の移行時の看護」(p.153～154) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第3章D「在宅療養準備期(退院前)の看護」(p.234～239)、E「在宅療養移行期の看護」(p.239～244)、第6章B-1「病棟で行う地域・在宅看護マネジメント——退院支援」(p.360～365) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第10章「さまざまな健康レベルにある人の継続的な移行支援」(p.300～323) 家族看護学：第1章B-1-2「健康問題とともに生活する家族」(p.15～17)

目標Ⅲ. 看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	内部環境の恒常性	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第2章 A-2 「看護の使命と結びつくホメオスタシス」 (p.81~83) 解剖生理学 : 第1章 B-1-1 「はたらきからみた器官系の分類」 (p.16~17)、第6章 「内臓機能の調節」 (p.240~280) 病態生理学 : 第4章 A-1 「体液と電解質の調整」 (p.56~59)
		神経系	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 「脳・神経系の構造と機能」 (p.18~50) 解剖生理学 : 第1章 B-2-3 「末梢神経」 (p.23)、C-5-4 「神経組織」 (p.51~53)、第6章 A 「自律神経による調節」 (p.241~249)、第8章 「情報の受容と処理」 (p.358~432) 病態生理学 : 第12章 A 「脳・神経、筋肉の機能」 (p.236~239)
		運動系	成人看護学 [10] (運動器) : 第2章 「運動器の構造と機能」 (p.20~41) 解剖生理学 : 第7章 「身体の支持と運動」 (p.282~355) 病態生理学 : 第12章 I-1 「筋収縮のしくみ」 (p.261)
		感覚器系	成人看護学 [13] (眼) : 第2章 「眼の構造と機能」 (p.14~25) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第2章 「耳鼻咽喉・頸部の構造と機能」 (p.22~42) 解剖生理学 : 第8章 「情報の受容と処理」 (p.358~432)
		循環器系	成人看護学 [3] (循環器) : 第2章 A 「心臓の構造と機能」 (p.16~23)、B 「血管の構造と機能」 (p.23~26)、C 「循環の調節」 (p.26~30) 解剖生理学 : 第4章 「血液の循環とその調節」 (p.150~208) 病態生理学 : 第6章 A-1 「心臓の構造と機能」 (p.90~93)、B-1 「血圧と血圧調節」 (p.108~111)
		血液、体液	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第2章 「血液の生理と造血のしくみ」 (p.18~30) 解剖生理学 : 第1章 C-3-4 「細胞膜が分ける細胞内と細胞外の体液」 (p.38~40)、第3章 C 「血液」 (p.126~147) 病態生理学 : 第4章 A-1 「体液と電解質の調整」 (p.56~59)、第5章 「血液のはたらきと病態生理」 (p.72~88)
		免疫系	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第2章 A 「免疫反応と疾患」 (p.16~19) 成人看護学 [11] (感染症) : 第2章 B 「感染が成立する条件」 (p.239~243) 解剖生理学 : 第9章 B 「生体の防御機構」 (p.439~450) 病理学 : 第3章 A 「免疫と免疫不全」 (p.34~41) 病態生理学 : 第1章 D 「感染症」 (p.14~18)、第3章 A 「免疫のしくみ」 (p.40~43) 微生物学 : 第6章 「感染に対する生体防御機構」 (p.91~124)
		呼吸器系	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第2章 「呼吸器系の構造と機能」 (p.20~39) 解剖生理学 : 第3章 A 「呼吸器の構造」 (p.97~107)、B 「呼吸」 (p.108~126) 病態生理学 : 第7章 A 「呼吸器の構造と機能」 (p.120~125)
		消化器系	成人看護学 [5] (消化器) : 第2章 「消化器の構造と機能」 (p.16~39) 解剖生理学 : 第2章 「栄養の消化と吸収」 (p.56~93) 病態生理学 : 第8章 A 「消化管の構造と機能」 (p.142~145)
		栄養と代謝系	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 C 「代謝の概要と機能」 (p.43~47) 解剖生理学 : 第2章 B-2 「栄養素の消化と吸収」 (p.76~80)、第6章 「内臓機能の調節」 (p.240~280) 生化学 : 第2章 A 「代謝と生体のエネルギー」 (p.22~27) 栄養学 : 第3章 A 「食物の消化と栄養素の吸収・代謝」 (p.46~72) 病態生理学 : 第10章 「内分泌・代謝のしくみと病態生理」 (p.196~220)
		泌尿器系	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 「腎・泌尿器の構造と機能」 (p.18~38) 解剖生理学 : 第5章 「体液の調節と尿の生成」 (p.210~237) 病態生理学 : 第9章 A 「腎臓の構造と機能」 (p.176~179)
		体温調節	解剖生理学 : 第9章 C 「体温とその調節」 (p.451~456)
		内分泌系	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第2章 A 「内分泌器官の構造と機能」 (p.16~25)、B 「内分泌器官とホルモンの機能」 (p.25~43) 生化学 : 第14章 C 「内分泌の生化学的基盤」 (p.261~268)
性と生殖器系	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第2章 E 「男性生殖器の構造と機能」 (p.35~39)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章「女性生殖器の構造と機能」(p.20~36)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章A「女性のライフサイクルに伴う形態・機能の変化」(p.100~127)</p> <p>解剖生理学 : 第10章A「男性生殖器」(p.461~466)、B「女性生殖器」(p.466~475)</p> <p>病態生理学 : 第11章A-1「女性の生殖機能」(p.222~224)、B-1「男性の生殖機能」(p.231~232)</p>
		妊娠・分娩・産褥の経過	<p>成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第2章B-5「妊娠の成立」(p.32~35)</p> <p>母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第3章A-2-1「妊娠の成立」(p.113~120)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第3章A「妊娠期の身体的特性」(p.62~81)、第4章A「分娩の要素」(p.184~195)、B「分娩の経過」(p.196~211)、第6章A「産褥経過」(p.322~325)</p>
		遺伝	<p>解剖生理学 : 第10章C-1「生殖細胞と受精」(p.475~479)</p> <p>生化学 : 第10章B「遺伝学の基礎知識」(p.172~182)</p> <p>病理学 : 第8章A「遺伝の生物学」(p.116~122)</p>
	B 人間の死	死の三徴候	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章B-1-1「死の判定」(p.287~288)</p> <p>病理学 : 第7章C-1-2「死の三徴候」(p.111)</p> <p>病態生理学 : 第1章G-2「死の定義」(p.25~26)</p> <p>救急看護学 : 第5章O「脳死状態への対応」(p.286)</p>
		死亡判定	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章B-1-1「死の判定」(p.287~288)</p> <p>病理学 : 第7章C「個体の死と終末期医療」(p.111~114)</p> <p>病態生理学 : 第1章G-2「死の定義」(p.25~26)</p>
		脳死	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第9章B-1-1「死の判定」(p.287~288)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-1-4「さまざまな意識障害と脳死」(p.58~60)</p> <p>解剖生理学 : 第8章K-5-1「意識障害」(p.429~431)</p> <p>病理学 : 第7章C-2「脳死と植物状態」(p.113)</p> <p>病態生理学 : 第1章G-2「死の定義」(p.25~26)</p> <p>救急看護学 : 第5章O「脳死状態への対応」(p.286~292)</p> <p>総合医療論 : 第5章C-2「死の判定——脳死と臓器移植」(p.120~123)</p>
11 徴候と疾患	A 主要な症状と徴候	意識障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-1「意識障害」(p.54~60)、第6章B-1「意識障害のある患者の看護」(p.245~251)</p> <p>小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章7「意識障害」(p.365~371)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章B-2-5「意識の障害」(p.158~160)</p> <p>病態生理学 : 第12章G-1「意識障害」(p.249~250)</p> <p>救急看護学 : 第5章B「意識障害への対応」(p.181~188)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第3章D-2-1「意識障害の評価」(p.104)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第4章A-5-1「意識障害」(p.145~148)</p>
		嚥下障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-5-2「嚥下障害」(p.74~75)</p> <p>成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 特論「摂食・嚥下障害患者の看護」(p.241~270)</p> <p>病態生理学 : 第8章B-2-1「嚥下障害・誤嚥」(p.146~147)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第4章A-5-4「摂食・嚥下障害」(p.168~175)、B-5-3「摂食・嚥下障害」(p.222~224)</p> <p>栄養食事療法 : 第3章D「摂食・嚥下障害」(p.39~42)</p>
		言語障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-2-1「失語症」(p.61~63)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第4章A-5-3「構音障害」(p.164~168)、A-5-5「失語」(p.175~182)、B-5-2「構音障害」(p.218~222)</p>
		ショック	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第3章H「ショック」(p.44~46)</p> <p>成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第3章1「ショック」(p.38~39)、第6章D-1「ショック状態患者の看護」(p.228~231)</p> <p>成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章D「アナフィラキシー」(p.45~48)</p> <p>小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章6「ショック」(p.360~364)</p> <p>病理学 : 第5章K「ショックと臓器不全」(p.90~92)</p> <p>病態生理学 : 第6章B-2-a-2「ショック」(p.112~114)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第2章C-3「ショック」(p.71~74)</p> <p>救急看護学 : 第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.197~205)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第3章C-1-3「ショック」(p.85~87)、C-3-2「ショック患者の看護」(p.96~101)</p>
		高体温、低体温	<p>成人看護学 [11] (感染症) : 第2章D-8「発熱」(p.249)、第5章A「発熱・不明熱」(p.286~287)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章9「発熱」(p.377~383) 解剖生理学 : 第9章C-5「高体温と低体温」(p.456) 病態生理学 : 第2章B-3「高体温」(p.35~37)、B-4「低体温」(p.37~38) 救急看護学 : 第5章H「体温異常への対応」(p.230~238) クリティカルケア看護学 : 第4章G「体温管理」(p.230~234)</p>
		脱水	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章D「脱水」(p.51~52) 老年看護学 : 第6章A-4「脱水」(p.238~241) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章13「脱水」(p.391~397) 病態生理学 : 第4章A-2-a-1「脱水症」(p.59~62) 救急看護学 : 第5章G-1「脱水症とは」(p.223~224) 臨床薬理学 : 第4章B-1「脱水症状に対する輸液による補正」(p.238~243)</p>
		黄疸	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第3章K「黄疸」(p.60~61) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章18「黄疸」(p.410~413) 病理学 : 第6章D-3「黄疸」(p.100~102) 病態生理学 : 第8章E-5「ビリルビン代謝と黄疸」(p.167~168) 臨床外科看護各論 : 第3章I-D-2「黄疸」(p.251~252) 救急看護学 : 第4章G-2-7「黄疸・貧血」(p.145)</p>
		頭痛	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章B-8「頭痛」(p.83~85) 病態生理学 : 第12章E「頭痛」(p.247~248) 救急看護学 : 第4章D-NOTE「頭痛」(p.124) 臨床薬理学 : 第2章A「解熱鎮痛薬」(p.38~46)</p>
		咳嗽、喀痰	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章A-1「咳嗽」(p.42~45)、A-2「喀痰」(p.45~46) 病態生理学 : 第7章C-1「咳嗽と喀痰」(p.127) 救急看護学 : 第4章E-2-4「咳と痰」(p.132) 臨床薬理学 : 第2章E「鎮咳・去痰薬」(p.60~64)</p>
		吐血、咯血	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章A-3「血痰・咯血」(p.47~49) 成人看護学 [5] (消化器) : 第3章E「吐血・下血」(p.49~51) 病態生理学 : 第8章D-5「吐血・咯血」(p.156~157) 救急看護学 : 第5章E-1-4「急性腹症の症状」(p.200~202)</p>
		チアノーゼ	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章B-1「チアノーゼ」(p.56~58) 成人看護学 [3] (循環器) : 第3章E「チアノーゼ」(p.39~40) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章5「チアノーゼ」(p.356~360) 病態生理学 : 第6章B-b「チアノーゼ」(p.117~118) 救急看護学 : 第5章E-2-3「チアノーゼ」(p.132)</p>
		呼吸困難	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章A-5「呼吸困難」(p.52~56) 成人看護学 [3] (循環器) : 第3章C「呼吸困難」(p.35~37) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章4「呼吸困難」(p.353~356) 病態生理学 : 第7章B-1「呼吸困難」(p.125) 救急看護学 : 第5章C「呼吸障害への対応」(p.188~197) クリティカルケア看護学 : 第3章B「呼吸障害」(p.64~80) 緩和ケア : 第5章A-1-3「呼吸器症状のマネジメント」(p.89~91)</p>
		胸痛	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第3章A-4「胸痛」(p.49~52) 成人看護学 [3] (循環器) : 第3章A「胸痛」(p.32~33) 病態生理学 : 第6章A-2-NOTE「胸痛」(p.94) 救急看護学 : 第4章F-2-4「胸部症状」(p.138~139)</p>
		不整脈	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章D「不整脈」(p.175~201) 病態生理学 : 第6章A-2-b「心筋収縮の指令の障害」(p.97~100) 救急看護学 : 第4章F「循環器系」(p.133~139)</p>
		腹痛、腹部膨満	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第3章D「腹痛」(p.47~49)、H「腹部膨満」(p.55~56) 病態生理学 : 第8章D-1-1「腹痛」(p.151~152) 救急看護学 : 第4章G「消化器系」(p.139~145)、第5章E「急性腹症への対応」(p.205~212)</p>
		悪心、嘔吐	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第3章C「吐きけ・嘔吐」(p.45~46) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章10「嘔吐」(p.383~385) 病態生理学 : 第8章D-4「嘔気(吐きけ)と嘔吐」(p.155~156) 救急看護学 : 第4章G-2-3「吐きけ・嘔吐」(p.144)、第5章E-1-4「急性腹症の症状」(p.206~207)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床薬理学：第2章B「制吐薬」(p.47～51)
		下痢	成人看護学 [5] (消化器)：第3章F「下痢」(p.51～52) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章11「下痢」(p.385～388) 病態生理学：第8章D-2「下痢」(p.153) 救急看護学：第4章G-2-2「下痢・便秘」(p.144)、第5章E-1-4「急性腹症の症状」(p.206～207) 栄養食事療法：第6章E-2「下痢」(p.101～102) 臨床薬理学：第2章D「下痢治療薬」(p.57～59)
		便秘	成人看護学 [5] (消化器)：第3章G「便秘」(p.52～55) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章12「便秘」(p.388～391) 病態生理学：第8章D-1-2「便秘」(p.152～153) 救急看護学：第4章G-2-2「下痢・便秘」(p.144) 栄養食事療法：第6章E-1「便秘」(p.99～101) 臨床薬理学：第2章C「便秘治療薬」(p.52～56)
		下血	成人看護学 [5] (消化器)：第3章E「吐血・下血」(p.49～51) 病態生理学：第8章D-5-2「下血・血便」(p.157) 救急看護学：第5章E-1-4「急性腹症の症状」(p.206～207)
		乏尿、無尿、頻尿、多尿	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-5-3「排泄障害」(p.75～77) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章A-1「尿量の異常」(p.40～41)、B-1「蓄尿症状」(p.46～48) 病態生理学：第9章C-1-3「尿量と排泄回数の異常」(p.191) 救急看護学：第5章F-4「尿閉とは」(p.215)
		浮腫	成人看護学 [3] (循環器)：第3章D「浮腫」(p.37～39) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章C「浮腫」(p.49～51) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第3章-10「リンパ浮腫」(p.45) 老年看護学：第6章A-6「浮腫」(p.244～246) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章14「浮腫」(p.398～401) 病理学：第5章B「浮腫(水腫)」(p.73～74) 病態生理学：第1章B-3「浮腫と胸水・腹水」(p.6～8) 救急看護学：第5章G-4「浮腫とは」(p.226)
		貧血	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第3章A-1「貧血」(p.35)、C-1「貧血」(p.42～44)、第5章B-1「貧血のある患者の看護」(p.153～157) 小児看護学 [1] (小児臨床看護総論)：第5章16「貧血」(p.405～408) 栄養学：第9章F-7-1「鉄欠乏性貧血」(p.222～223)、F-7-2「巨赤芽球性貧血」(p.223) 病理学：第12章A-2「貧血」(p.198～200) 病態生理学：第5章B-2-1「貧血とは」(p.75～79) 栄養食事療法：第9章A「貧血」(p.148～153)
		睡眠障害	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第4章B「睡眠・休息の援助」(p.140～150) 成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章F-2「睡眠時無呼吸症候群」(p.197) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章C-2-Column「閉塞性睡眠時無呼吸症候群」(p.171) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-7-1「睡眠障害」(p.229～231) 病態生理学：第12章F「睡眠障害」(p.248～249) 緩和ケア：第5章B-3-2「不眠」(p.104～105) 臨床薬理学：第2章G「睡眠薬」(p.73～77)
		感覚過敏・鈍麻	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-4「感覚機能障害」(p.71～73) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第3章A-1「難聴」(p.45～46)、B-3「嗅覚障害」(p.50) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章B-2-4「知覚の障害(幻覚を中心に)」(p.156～158) 病態生理学：第13章D「皮膚感覚とその異常」(p.276～278)
		運動麻痺	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-3「運動機能障害」(p.65～71) 成人看護学 [10] (運動器)：第3章D「神経の障害」(p.55～57) 病態生理学：第12章H-2「運動失調」(p.255)、H-6-2「運動麻痺」(p.259) 救急看護学：第5章D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.118～125) クリティカルケア看護学：第3章D-2-2「運動麻痺」(p.106) リハビリテーション看護：第3章B-4「障害とリハビリテーション看護」(p.96～115)、第4章A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218)、C-5-1「運動麻痺」(p.231～244)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		けいれん	<p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-3-4 「けいれん」 (p.70~71)、第5章 H 「てんかん」 (p.218~225)</p> <p>小児看護学 [1] (小児臨床看護総論) : 第5章 8 「痙攣」 (p.371~377)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6-2 「てんかん」 (p.209~211)</p> <p>病態生理学 : 第12章 H-1 「けいれん」 (p.256~257)</p> <p>救急看護学 : 第4章 D-1-2-NOTE 「痙攣」 (p.125)</p> <p>臨床薬理学 : 第4章 D-4 「抗けいれん薬の臨時投与」 (p.273~276)</p>
	B 主要な疾患による健康障害	生活習慣病	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-5 「生活習慣病」 (p.60)、B-1-2 「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」 (p.66~74)、第5章 C 「生活行動がもたらす健康問題とその予防」 (p.187~197)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 A 「虚血性心疾患」 (p.122~151)、C 「血圧異常」 (p.165~175)、第6章 E-3 「血圧異常患者の看護」 (p.336~338)</p> <p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1 「糖尿病」 (p.132~164)、B-2 「脂質異常症」 (p.164~177)、B-3 「肥満症とメタボリックシンドローム」 (p.177~183)、B-4 「尿酸代謝異常」 (p.183~187)、第6章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.243~281)、C-2 「脂質異常症患者の看護」 (p.281~286)、C-3 「肥満症患者の看護」 (p.286~289)、C-5 「尿酸代謝異常患者の看護」 (p.291~293)</p> <p>栄養学 : 第9章 F-1 「やせ・低栄養患者の食事療法」 (p.206)、F-2 「肥満・メタボリックシンドローム患者の食事療法」 (p.206~208)、F-3-1 「高血圧症」 (p.208)、F-3-2 「動脈硬化」 (p.208~209)、F-3-3 「虚血性心疾患」 (p.209)、F-3-4 「心不全」 (p.209)、F-3-5 「脳血管障害」 (p.210)、F-5-1 「糖尿病」 (p.216~217)、F-5-2 「脂質異常症」 (p.217~218)、F-5-3 「高尿酸血症・痛風」 (p.218~219)、第10章 B 「生活習慣病の予防」 (p.241~242)</p> <p>病理学 : 第5章 I 「高血圧症」 (p.86~89)、第6章 A 「脂質代謝障害」 (p.94~96)、C-1 「糖尿病」 (p.98~99)、第11章 B-5 「虚血性心疾患」 (p.188~192)、第17章 A-2 「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)と外傷」 (p.296~301)</p> <p>病態生理学 : 第6章 B-b 「血圧の上昇による病態」 (p.114)、第10章 B-2 「糖代謝の異常」 (p.210~214)、C-2 「脂質異常症」 (p.216~217)、第12章 B-2 「脳血管障害」 (p.240~242)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 C-4 「生活習慣病対策」 (p.234~242)</p> <p>栄養食事療法 : 第1章 A-3-1 「生活習慣病(非感染性慢性疾患)」 (p.4~5)、第5章 「循環器疾患患者の栄養食事療法」 (p.56~68)、第8章 A 「肥満」 (p.128~130)、E 「糖尿病」 (p.137~140)、F 「脂質異常症」 (p.141~144)、G 「高尿酸血症・痛風」 (p.144~146)</p>
		がん	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-1 「生と死の動向」 (p.56~58)、B-1-2 「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」 (p.66~74)</p> <p>生化学 : 第15章 「がん」 (p.269~283)</p> <p>栄養学 : 第9章 H 「がんの食事療法」 (p.233~236)</p> <p>病理学 : 第9章 「腫瘍」 (p.135~166)</p> <p>病態生理学 : 第1章 E 「腫瘍」 (p.18~21)</p> <p>公衆衛生 : 第8章 B-5 「がん対策」 (p.243~244)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第2章 B 「腫瘍」 (p.55~63)</p> <p>がん看護学 : 第2章 B 「がん」 (p.66~71)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第5章 NOTE 「がんリハビリテーション」 (p.300~301)</p> <p>栄養食事療法 : 第14章 「がん患者の栄養食事療法」 (p.200~213)</p>
		感染症	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 B-1-2 「保健にかかわる対策——健やかな生活をはぐくむために」 (p.66~74)、第5章 C-7 「感染症」 (p.194~197)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 A 「感染症」 (p.138~164)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 C-2-1 「感染性腸炎」 (p.173~175)、D-1 「肝炎」 (p.210~230)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 F 「脳・神経系の感染症」 (p.205~215)</p> <p>成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 D 「感染症」 (p.199~203)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第2章 D 「感染症でみられる症状」 (p.245~250)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 F 「感染症」 (p.135~154)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第6章 「感染症と看護」 (p.139~173)</p> <p>病理学 : 第4章 「感染症」 (p.55~70)</p> <p>病態生理学 : 第1章 D 「感染症」 (p.14~17)、第7章 C-2 「呼吸器感染症」 (p.127~130)</p> <p>微生物学 : 第3部 「おもな病原微生物」 (p.193~314)</p> <p>公衆衛生 : 第6章 「感染症とその予防対策」 (p.154~180)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
		精神疾患	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2-6 「メンタルヘルスと自殺者数」 (p.62~63) 老年看護学 : 第6章 C-1 「うつ」 (p.282~288) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第18章 「精神疾患と看護」 (p.486~518) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 V 「メンタルヘルスの問題をかかえる母親の支援」 (p.541~550) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C 「精神障害の診断と分類」 (p.162~234)	
		小児の疾患	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 各章 B 「おもな疾患」 の項に記載	
		高齢者の疾患	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 I 「認知症」 (p.225~233) 成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 D-1 「骨粗鬆症」 (p.151~152) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 「高齢者の疾患の特徴」 (p.134~269) 病理学 : 第7章 A 「個体の老化と老年症候群」 (p.104~105)、B-3 「加齢に伴う諸臓器の変化」 (p.108~111)	
	C 基本的な臨床検査値の評価	血液学検査	臨床検査 : 第4章 「血液学的検査」 (p.104~132)	
		血液生化学検査	臨床検査 : 第5章 「化学検査」 (p.134~184)	
		免疫血清学検査	臨床検査 : 第6章 「免疫・血清学的検査」 (p.186~208)	
		尿検査	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-2 「尿検査」 (p.416~420) 臨床検査 : 第3章 A 「尿検査」 (p.79~91)	
	12 薬物の作用とその管理	A 主な薬物の効果と副作用(有害事象)	抗感染症薬	成人看護学 [11] (感染症) : 第4章 「治療」 (p.269~284) 生化学 : 第13章 B-4 「翻訳の制御と抗生物質」 (p.236) 薬理学 : 第3章 「抗感染症薬」 (p.68~102) 微生物学 : 第9章 「感染症の治療」 (p.149~172) 臨床薬理学 : 第4章 E 「感染徴候がある者に対する薬物の臨時投与」 (p.277~283)
			抗がん薬	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C-4-1 「化学療法」 (p.79~82) 生化学 : 第15章 F 「がん薬物療法」 (p.279~283) 薬理学 : 第4章 「抗がん薬」 (p.104~116) がん看護学 : 第3章 C-2 「抗悪性腫瘍薬の種類と特徴」 (p.135~143) 臨床薬理学 : 第4章 F-2-2 「抗がん薬の血管外漏出に伴う組織傷害」 (p.289~292)
			強心薬、抗不整脈薬	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 D-4-1 「抗不整脈薬」 (p.198~199) 薬理学 : 第9章 C 「心不全治療薬」 (p.208~212)、D 「抗不整脈薬」 (p.212~217) 救急看護学 : 第7章 B-3 「抗不整脈薬」 (p.358~360) 臨床薬理学 : 第3章 C 「心不全」 (p.92~98)、D 「不整脈」 (p.99~104)、第4章 A-2 「持続点滴中のカテコールアミンの投与量の調整」 (p.214~219)
狭心症治療薬			成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 A-1-3 「治療」 (p.129~130) 生化学 : 第14章 B-4-1 「グアニル酸シクラーゼ」 (p.259~260) 薬理学 : 第9章 B 「狭心症治療薬」 (p.205~208) 臨床薬理学 : 第3章 B 「急性冠症候群」 (p.86~91)	
抗血栓薬			薬理学 : 第9章 G-1 「抗血液凝固薬」 (p.224~227)、G-2 「血栓溶解薬および抗血小板薬」 (p.227~229) 臨床薬理学 : 第3章 E 「抗血小板・抗凝固療法」 (p.105~110)	
降圧薬、昇圧薬			成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 C-2-2 「治療」 (p.170~172) 薬理学 : 第9章 A 「降圧薬」 (p.198~205) 救急看護学 : 第7章 B-1 「昇圧薬」 (p.357)、B-2 「降圧・冠血管拡張薬」 (p.357~358) 臨床薬理学 : 第3章 A 「高血圧症」 (p.80~85)、第4章 A-2 「持続点滴中のカテコールアミンの投与量の調整」 (p.214~219)、A-3 「持続点滴中の降圧薬の投与量の調整」 (p.220~226)	
利尿薬			薬理学 : 第9章 E 「利尿薬」 (p.217~221) 救急看護学 : 第7章 B-8 「その他の救急医薬品(気管支拡張薬、利尿薬、電解質製剤)」 (p.363) 臨床薬理学 : 第4章 A-4 「持続点滴中の利尿薬の投与量の調整」 (p.226~230)	
消化性潰瘍治療薬			成人看護学 [5] (消化器) : 第4章 C-1-3 「酸分泌を抑制する薬物」 (p.116) 薬理学 : 第10章 B-1 「消化性潰瘍治療薬」 (p.244~247)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床薬理学：第3章H「胃・十二指腸潰瘍」(p.125～131)
		下剤、止痢薬	成人看護学 [5] (消化器)：第4章C-1-1「止痢薬」(p.113)、第4章C-1-2「下剤」(p.115～116) 薬理学：第10章B-4「下剤と止痢薬」(p.249～251) 臨床薬理学：第2章C「便秘治療薬」(p.52～56)、D「下痢治療薬」(p.57～59)
		抗アレルギー薬	成人看護学 [11] (アレルギー)：第3章C-2「薬物療法」(p.36～38) 成人看護学 [12] (皮膚)：第4章C-1「全身療法(内服・注射薬)」(p.64～67)、第6章E-1「内服療法を受ける患者の看護」(p.187～188) 薬理学：第6章A「抗アレルギー薬と抗炎症薬」(p.130～134)
		免疫療法薬	成人看護学 [11] (アレルギー)：第3章C-3「アレルゲン免疫療法」(p.38) 成人看護学 [11] (膠原病)：第4章C-2「薬物療法」(p.142～147)
		副腎皮質ステロイド薬	成人看護学 [11] (膠原病)：第4章C-2-2「副腎皮質ステロイド薬」(p.143)、第6章D-1「薬物療法を受ける患者の看護」(p.189～193) 成人看護学 [12] (皮膚)：第4章C-1「全身療法(内服・注射薬)」(p.64～67)、C-2「外用療法」(p.67～69)、第6章E-1「内服療法を受ける患者の看護」(p.187～188)、E-2「外用療法を受ける患者の看護」(p.188～197) 生化学：第14章B-4-2「NF-κ B シグナル」(p.260～261) 薬理学：第6章B-1「ステロイド性抗炎症薬」(p.135～138) 救急看護学：第7章B-7「ステロイド薬」(p.362) 臨床薬理学：第4章F「副腎皮質ステロイド薬による治療」(p.284～296)
		糖尿病治療薬	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章B-1-4「薬物療法」(p.142～147)、巻末資料「糖尿病治療薬」(p.318～323) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章E-3-1「危険な薬剤や治療上重要な役割を担っている薬剤での間違いを防ぐ」(p.112) 薬理学：第11章A-1「糖尿病治療薬」(p.260～266) 臨床薬理学：第3章M「糖尿病」(p.159～168)、第4章C「インスリンの投与量の調整」(p.252～258)
		中枢神経作用薬	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第6章C-2「向精神薬とその種類」(p.266～285) 薬理学：第8章「中枢神経系に作用する薬物」(p.166～196) 臨床薬理学：第4章D「精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整」(p.259～279)
		麻薬	薬理学：第8章H「麻薬性鎮痛薬」(p.189～193) 臨床薬理学：第2章F「鎮静薬」(p.65～72)、第4章G「術後ならびに呼吸管理にかかわる薬物の投与と調整」(p.297～309)
		消炎鎮痛薬	薬理学：第6章B「抗炎症薬」(p.134～140) 臨床薬理学：第2章A「解熱鎮痛薬」(p.38～46)
	B 薬物の管理	禁忌	看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章E-3-2「患者にとって直接実害を及ぼす薬剤での間違いを防ぐ(禁忌薬に注意)」(p.112) 薬理学：第2章E-2「薬物の副作用」(p.50～53)、巻末資料C「添付文書」(p.331～335)
		保存・管理方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章A-2-2「薬の管理」(p.313～314) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章E-2-3「内服と薬特有の間違いの発生要因」(p.111) 薬理学：第2章F-1「医薬品に関する法律」(p.55～57)
		薬理効果に影響する要因	薬理学：第2章D「薬効の個人差に影響する因子」(p.44～48) 臨床薬理学：第1章A-2「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12～17)

目標Ⅳ. 看護技術に関する基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
13 基本 看護 技術 における	A コミュニケーション	言語的コミュニケーション	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第1章B「コミュニケーションの構成要素と成立過程」(p.23～29) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章C「健康問題をもつ大人と看護師の人間関係」(p.114～120) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章B-2「言語障害のある患者の看護」(p.251～256)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 6 章「医療安全とコミュニケーション」(p.206~216)</p> <p>人間関係論 : 第 5 章 B-2-1「言語的コミュニケーション」(p.85)</p> <p>緩和ケア : 第 3 章「緩和ケアにおけるコミュニケーション」(p.39~56)</p>
		非言語的コミュニケーション	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 1 章 B「コミュニケーションの構成要素と成立過程」(p.23~29)</p> <p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 3 章 C「健康問題をもつ大人と看護師の人間関係」(p.114~120)</p> <p>人間関係論 : 第 5 章 B-2-2「非言語的コミュニケーション」(p.86)</p> <p>緩和ケア : 第 3 章「緩和ケアにおけるコミュニケーション」(p.39~56)</p>
		面接技法	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 B-1「問診(面接)の技術」(p.132~133)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 C-3「話すこと、聞くこと」(p.18~23)</p> <p>人間関係論 : 第 6 章 A「カウンセリング・心理療法の理論とスキル」(p.104~120)</p>
	B 看護過程	情報収集、アセスメント	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 5 章 C-1「アセスメント(情報の収集と分析)」(p.303~316)
		計画立案	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 5 章 C-3「看護計画」(p.326~330)
		実施	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 5 章 C-4「実施」(p.331~332)
		評価	基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 5 章 C-5「評価」(p.332~334)
	C フィジカルアセスメント	バイタルサインの観察	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 C-3「バイタルサインの観察とアセスメント」(p.154~176)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 B-2「全身状態の観察とアセスメント」(p.104~109)</p>
		意識レベルの評価	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 C-3-5「意識」(p.173~176)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 3 章 B-1-2「意識障害の分類・評価」(p.55~57)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.118~125)</p>
		呼吸状態の観察	<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 D-2「呼吸器系のフィジカルアセスメント」(p.193~204)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 3 章 B-4「呼吸の異常」(p.60~65)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 E-1-3「聴診」(p.130~131)</p>
腸蠕動音聴取		<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 D-5「腹部のフィジカルアセスメント」(p.220~230)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 4 章 A-2「聴診」(p.69~70)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 G-1-3「聴診」(p.142)</p>	
運動機能の観察		<p>基礎看護学 [2] (基礎看護技術 I) : 第 4 章 D-6「筋・骨格系のフィジカルアセスメント」(p.230~239)</p> <p>救急看護学 : 第 4 章 D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.118~125)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 2 章 C-2-2「日常生活活動(ADL)の評価」(p.61~67)、第 3 章 B-4-2「関節拘縮」(p.103~104)、B-4-3「筋萎縮」(p.107~111)</p>	
14 日常生活援助技術	A 食事	食事の環境整備、食事介助	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第 2 章 B「食事摂取の介助」(p.39~43)</p> <p>栄養学 : 第 1 章 C-1「食事における看護師の役割」(p.13~14)</p> <p>栄養食事療法 : 第 1 章 B-1-4「看護の役割」(p.8~10)、第 17 章 A-4-2「食事介助」(p.243)</p>
		誤嚥の予防	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術 II) : 第 2 章 B「食事介助」(p.39~43)、C「摂食・嚥下訓練」(p.44~51)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 6 章 B-9「嚥下障害のある患者の看護」(p.283~288)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 4 章 C「摂食中の窒息・誤嚥事故防止」(p.170~176)</p> <p>栄養学 : 第 9 章 F-10「摂食・嚥下障害患者の食事療法」(p.225~226)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 4 章 A-5-4「摂食・嚥下障害」(p.168~175)、B-5-3「摂食・嚥下障害」(p.222~224)</p> <p>栄養食事療法 : 第 3 章 D「摂食・嚥下障害」(p.39~42)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
B 排泄	排泄の援助(床上、トイレ、ポータブルトイレ、おむつ)		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 A-2 「自然排尿および自然排便の介助の実際」 (p.71~79)
		導尿	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 B 「導尿」 (p.79~87) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章 B-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.288~292) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 D 「排尿管理」 (p.99~101)、第6章 V-A-1 「導尿を受ける患者の看護」 (p.265) リハビリテーション看護 : 第4章 C-3 「排尿障害」 (p.245~248)
		浣腸	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 C-2 「浣腸(グリセリン浣腸)」 (p.88~92)
		摘便	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 C-3 「摘便」 (p.93~94)
		失禁のケア	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第3章 A 「自然排尿および自然排便の介助」 (p.65~79) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 II-3-d 「尿失禁のある患者の看護」 (p.217~221) 臨床外科看護各論 : 第3章 II-C-3 「大腸の手術を受ける患者の看護」 (p.343~354)
	C 活動と休息	体位、体位変換	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-2 「体位」 (p.110~113)、A-3-1 「体位変換」 (p.113~124)
		移動、移送	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-3 「移動(体位変換・歩行・移乗・移送)」 (p.113~140)
		ボディメカニクス	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A-1-2 「ボディメカニクス」 (p.107~110) 成人看護学 [10] (運動器) : 第1章 C-2 「ボディメカニクス」 (p.17~18)
		廃用症候群の予防	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 A 「基本的活動の援助」 (p.104~140) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第6章 B-4 「運動麻痺のある患者の看護」 (p.262~270)、C-3 「リハビリテーションを受ける患者の看護」 (p.314~318) 成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 M 「廃用症候群」 (p.185) 臨床外科看護総論 : 第11章 D-2-2 「廃用症候群」 (p.389~391) リハビリテーション看護 : 第3章 B-3 「骨折のリハビリテーションプログラム」 (p.94~96)、B-4-2 「関節拘縮」 (p.102~106)、B-4-3 「筋萎縮」 (p.106~115)、第4章 A-5-2 「運動障害」 (p.148~164)、B-5-1 「運動障害」 (p.201~218)
	D 清潔	睡眠	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第4章 B 「睡眠と休息の援助」 (p.140~150)
		入浴、シャワー浴	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-1 「入浴・シャワー浴」 (p.178~184) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章 E 「入浴中の事故防止」 (p.180~185) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-2 「運動障害」 (p.163~165)
		清拭	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-2 「全身清拭」 (p.184~189)
		口腔ケア	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-8 「口腔ケア」 (p.215~223) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 特論 「口腔ケア」 (p.254~272)
洗髪		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-3 「洗髪」 (p.190~198)	
手浴、足浴		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-4 「手浴」 (p.199~201)、A-2-5 「足浴とフットケア」 (p.201~204)	
陰部洗浄		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-6 「陰部洗浄」 (p.204~207)	
整容		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 A-2-7 「整容」 (p.207~215)	
	寝衣交換	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第6章 B-2-2 「病衣・寝衣の交換」 (p.227~232)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
15 患者の安全・安楽を守る看護技術	A 療養環境	病室環境	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第1章「環境調整技術」(p.9~26)
		共有スペース	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第1章「環境調整技術」(p.9~26)
		居住スペース	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第1章「環境調整技術」(p.9~26)
	B 医療安全対策	転倒・転落の防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第3章E「転倒・転落防止」(p.117~120) 地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章B「暮らしの環境を整える看護」(p.106~110)、第4章F-2-1「●転倒」(p.133~134) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章D-1-2「●転倒の予防と対策」(p.73)、「●転落の予防と対策」(p.73~74) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章B「転倒・転落事故防止」(p.144~170) リハビリテーション看護 : 第4章A-6-2「転倒」(p.195~196)、B-5-7「合併症の予防と管理(転倒と骨折)」(p.226)
		誤薬の防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第3章B「誤薬防止」(p.108~113) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章A-2-1「正しい与薬」(p.312~313) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章「患者に投与する業務における事故防止」(p.40~120) 薬理学 : 第1章A-3「チームによる薬物治療と看護師の役割」(p.8~12) 臨床薬理学 : 第1章B「薬物治療の実際」(p.23~36)
		患者誤認の防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第3章D「患者誤認防止」(p.116~117) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第5章A「業務領域をこえて共通する患者間違い」(p.188~196)
		誤嚥・窒息の防止	地域・在宅看護論 [1] (地域・在宅看護の基盤) : 第4章F-2-1「●誤嚥・誤飲・窒息」(p.134) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章D-1-2「●誤嚥の予防と対策」(p.75~77) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第4章C「摂食中の窒息・誤嚥事故防止」(p.170~176)、第6章C-2-2「摂食中の窒息・誤嚥事故防止における患者とのコミュニケーション」(p.215)
		コミュニケーションエラーの防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第1章B「コミュニケーションの構成要素と成立過程」(p.23~29) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第6章「医療安全とコミュニケーション」(p.206~216) 人間関係論 : 第9章C「チームにおけるコミュニケーションエラーとその予防」(p.174~179) がん看護学 : 第4章C-1「がん患者とのコミュニケーション」(p.216~223)
		標準予防策〈スタンダードプリコーション〉	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章B「標準予防策(スタンダードプリコーション)」(p.69~78) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A「感染予防」(p.342~351) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章C-3「院内感染対策」(p.35~39) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第7章A-2-1「標準予防策(スタンダードプリコーション)」(p.223) 微生物学 : 第10章C-3-2「標準予防策」(p.185~186) 救急看護学 : 第4章A「周囲の状況確認と感染予防対策」(p.100~103)
	感染経路別予防策	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章C「感染経路別予防策」(p.78~82) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-5「感染経路別予防策と隔離方法」(p.351~352) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章C-3「院内感染対策」(p.35~39) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第7章A-2-2「感染経路別予防策」(p.224~225) 微生物学 : 第10章C-3-3「感染経路別予防策」(p.187~188)	
	手指衛生	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章B-2-1「手指衛生」(p.70~73) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-4-1「適切な手指衛生」(p.346~348) 臨床外科看護総論 : 第6章E-1-2「標準予防策の実際」(p.215~217)、第8章C-2-1「手術時の手洗い・手指消毒」(p.287~289)	
	必要な防護用具(手袋、マスク、ガウン、ゴーグル)の選択・着脱	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章B-2-2「個人防護用具(PPE)」(p.73~77) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-4-2「個人防護用具(PPE)の使用」(p.348~351)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		無菌操作	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章E「無菌操作」(p.87~93) 臨床外科看護総論 : 第8章A-2-6「無菌操作」(p.265)
		滅菌と消毒	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章D「洗浄・消毒・滅菌」(p.82~87) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-6「洗浄・消毒・滅菌」(p.352~355) 薬理学 : 第15章「消毒薬」(p.306~312) 微生物学 : 第9章「滅菌と消毒」(p.125~136)
		針刺し・切創の防止	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章H「針刺し防止策」(p.96~100) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章H-1-5「注射の準備」(p.331~335) 成人看護学 [11] (感染症) : 第6章A-8「職業感染対策」(p.356~359) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第7章A「職業感染」(p.218~220)、第8章B-3-3「注射・点滴実施時の間違い」(p.253~254) 臨床検査 : 第2章E-4-1「針刺しなどによる血液曝露」(p.54~55)
		感染性廃棄物の取り扱い	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ) : 第2章F「感染性廃棄物の取り扱い」(p.93~96) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章F-5「廃棄物の取り扱いと管理」(p.120~121) 微生物学 : 第10章C-3-2-9「感染性廃棄物の処理」(p.186) 臨床検査 : 第2章E-3「患者および検体からの感染の予防」(p.52~53)
16 診療に伴う看護技術	A 栄養法	経管・経腸栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章D-1「経管栄養法」(p.51~61) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章D-1-e「経管栄養法を受ける療養者の援助」(p.120~131) 成人看護学 [5] (消化器) : 第4章C-2-1「栄養療法の概要」(p.120~123) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章F「経管栄養(注入)業務と事故防止」(p.115~120) 栄養学 : 第9章C-1「経腸栄養法」(p.197~199) 臨床外科看護総論 : 第3章D-3-2「経腸栄養法」(p.120) 栄養食事療法 : 第2章B-2「経管・経腸栄養法」(p.24~26)
		経静脈栄養法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第2章D-2「中心静脈栄養法」(p.60~61) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践) : 第2章D-1-f「在宅中心静脈栄養法(HPN)を受ける療養者の援助」(p.131~136) 成人看護学 [5] (消化器) : 第4章C-2-1「栄養療法の概要」(p.120~123) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第3章A-3-1「中心静脈ラインの管理におけるおもな危険とその要因」(p.125~127) 栄養学 : 第9章C-2「経静脈栄養法」(p.199) 臨床外科看護総論 : 第2章D-3-1「静脈栄養法」(p.119) 栄養食事療法 : 第2章B-3「経静脈栄養法」(p.26) 臨床薬理学 : 第4章B-2「持続点滴中の高力口リ輸液の投与量の調整」(p.243~251)
	B 薬物療法	与薬方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章「与薬の技術」(p.309~376) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章「患者に投与する業務における事故防止」(p.40~120) 薬理学 : 第2章B-1「薬物の投与経路」(p.25~29) 臨床薬理学 : 第1章B-1「患者と薬物治療」(p.23~25)
		薬効・副作用(有害事象)の観察	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章A「与薬の基礎知識」(p.310~314) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章B-5-4「注射実施後(点滴中)の観察・管理で知っておくべき注射薬の知識」(p.68)、E-4「内服と薬事故防止のために必要な知識・技術」(p.112~114) 薬理学 : 第1章A-3「チームによる薬物治療と看護師の役割」(p.8~12) 臨床検査 : 第5章N「血中薬物濃度の検査」(p.183~184) 臨床薬理学 : 第1章B-2「薬物治療の評価」(p.26~29)
	C 輸液・輸血管理	刺入部位の観察	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章H-2-d「静脈内注射」(p.346~369) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章B-3-2「注射実施後(点滴中)の観察・管理におけるおもな危険とその要因」(p.58~60) 臨床外科看護総論 : 第3章C-2「輸液法」(p.113~114) 救急看護学 : 第6章H-1「輸液」(p.323~324)
		点滴静脈内注射	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章H-2-d「静脈内注射」(p.346~369) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章A「業務特性からみた患者に投与する業務の事故防止(総論)」(p.41~44)、B「注射業務と事故防止」(p.44~68)
		輸血	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第9章I「輸血管理」(p.369~375) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章C-5-2「出血とその対策」(p.94~96)、第5章D-5「輸血療法」(p.199~202)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 D 「輸血業務と事故防止」 (p.83～95)</p> <p>薬理学 : 付章 B 「輸血剤」 (p.321～325)</p> <p>救急看護学 : 第6章 H-2 「輸血」 (p.325～326)</p>
	D 採血	刺入部位	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-1 「血液検査」 (p.407～416)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 B-3-2 「静脈穿刺時の危険——神経損傷、動脈誤穿刺」 (p.58)</p>
		採血方法	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-1 「血液検査」 (p.407～416)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第2章 D-2-2 「血液型の間違いにつながる採血ミスの2つのパターン」 (p.87～90)</p> <p>臨床検査 : 第2章 D-3-2 「血液」 (p.40～43)</p>
		採血後の観察内容、採血に関連する有害事象	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 B-1 「血液検査」 (p.407～416)</p>
	E 呼吸管理	酸素療法の原則	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第3章 B-1 「酸素療法」 (p.101～105)</p> <p>救急看護学 : 第6章 C 「酸素投与」 (p.305～307)</p>
		酸素ポンプ	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p>
		酸素流量計	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p> <p>救急看護学 : 第6章 C 「酸素投与」 (p.305～307)</p>
		鼻腔カニューラ	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p> <p>救急看護学 : 第6章 C 「酸素投与」 (p.305～307)</p>
		酸素マスク	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A 「酸素療法」 (p.234～240)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p> <p>救急看護学 : 第6章 C 「酸素投与」 (p.305～307)</p>
		ネブライザー	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 D 「吸入」 (p.260～264)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2 「酸素療法」 (p.111～113)</p>
		口腔内・鼻腔内吸引	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-3 「吸引」 (p.248～255)</p> <p>救急看護学 : 第6章 F-1 「口腔・鼻腔内吸引」 (p.314～316)</p>
		気管内吸引	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-3 「吸引」 (p.248～255)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第10章 C-2-2 「●気管吸引(気管内吸引)」 (p.366～367)</p> <p>救急看護学 : 第6章 F-2 「気管内吸引(気管吸引)」 (p.316～319)</p>
		体位ドレナージ	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 B-2-1 「体位ドレナージ」 (p.242～246)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 B-1-関連する看護技術「体位ドレナージ」 (p.237～238)</p>
	F 救命救急処置	気道の確保	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 B-2 「一次救命処置の実際」 (p.384～394)</p> <p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-5 「気道確保」 (p.121～125)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第5章 A-2-2 「気道確保——救急のA」 (p.186～187)</p> <p>救急看護学 : 第5章 A-1-1 「気道確保」 (p.167～168)、A-2-3 「気管挿管・気道確保」 (p.176～178)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第4章 B-1 「一次救命処置」 (p.192～195)</p>
		人工呼吸	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 B-2 「一次救命処置の実際」 (p.384～394)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第5章 A-2-3 「人工呼吸(呼吸の確保・維持)——救急のB」 (p.187～189)</p> <p>救急看護学 : 第5章 A-1-3 「人工呼吸」 (p.169～171)、A-2-3 「気管挿管・気道確保」 (p.176～178)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第4章 B-1 「一次救命処置」 (p.192～195)</p>
		胸骨圧迫	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第10章 B-2 「一次救命処置の実際」 (p.384～394)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第5章 A-2-4 「心臓マッサージ」 (p.189～190)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			救急看護学：第5章 A-1-2「胸骨圧迫」(p.168～169) クリティカルケア看護学：第4章 B-1「一次救命処置」(p.192～195)
		直流除細動器	成人看護学 [3] (循環器)：第5章 D-4-2「直流通電による電気ショック」(p.199～200) 救急看護学：第5章 A-2「二次救命処置(ALS)」(p.174～175)
		自動体外式除細動器 (AED)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 B-2「一次救命処置の実際」(p.384～394) 成人看護学 [3] (循環器)：第5章 D-3-7「心室細動」(p.194) 臨床外科看護総論：第5章 A-2-4-NOTE「電氣的除細動器」(p.191) 救急看護学：第5章 A-1-4「除細動」(p.171～174) クリティカルケア看護学：第4章 B-1「一次救命処置」(p.192～195)
		止血法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 C「止血法」(p.396～399) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第5章 B-3-3「看護活動」(p.162～163) 臨床外科看護総論：第4章 A-4「止血」(p.151～152) 救急看護学：第6章 B「止血法」(p.299～305)
		トリアージ	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-3-2「●災害発生期」(p.341～343) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第10章 A-3「トリアージ」(p.381～383) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-3-3「トリアージ」(p.39～46) 臨床外科看護総論：第5章 B-3-2「初期情報からのアセスメントおよびトリアージ」(p.195～198) 救急看護学：第1章 C-3-4「災害時の医療」(p.37～39)、第3章 A-2-2「トリアージ」(p.67～68)、B-2-2「トリアージ」(p.74～75)、F「災害時における対応」(p.89～96)
	G 皮膚・創傷の管理	創傷管理	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第8章 A「創傷管理の基礎知識」(p.280～284)、B「創傷処置」(p.284～297) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-8-a「テープ類による皮膚トラブルの予防とケア」(p.206～209) 臨床外科看護総論：第1章 E「創傷治癒」(p.34～52) 救急看護学：第6章 O「創傷処置」(p.351～352)
		褥瘡の予防・処置	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第8章 C「褥瘡予防」(p.298～306) 地域・在宅看護論 [2] (地域・在宅看護の実践)：第2章 E-8-b「褥瘡の予防とケア」(p.209～219) 成人看護学 [12] (皮膚)：特論「褥瘡患者の看護」(p.250～272) 臨床外科看護総論：第1章 E-7「褥瘡の予防と処置」(p.47～52) リハビリテーション看護：第4章 C-6-1「褥瘡」(p.256～258)